

# ほくとわたしの ギャラリー

第80回記念県小・中・高校絵画展



小学生の部 特選

「父が働く港」

山本 鈴 (灘小学校5年)

中田市長や小松県漁連会長の立合いで、小磯富男組合長（丸山）と米岡清一組合長（阿那賀）が仮契約書に調印しました。

小磯組合長は「漁業環境は厳しさを増しており、合併を機に組合員の生活向上や漁協の経営基盤強化を目指したい」と、米岡組合長は「発展的合併に繋がるように努めたい」と熱く語られました。



▲阿那賀漁港

▼丸山漁港

## わかまち ふるさと資源

合併後は「南あわじ漁業協同組合」と名称を改め、正組合員百六十八人、タコや鯛、ワカメ、ノリ養殖などの水揚げは五億九千万円となり、島内六番目の規模となります。また、海産物直売所の「魚彩館」や、四季折々の釣りが安全に楽しめる「丸山海釣り公園」の管理は、新漁協へ引き継がれます。

丸山漁業協同組合で行われた調印式には、両組合の関係者三十七人が出席。

中田市長や小松県漁連会長の立合いで、小磯富男組合長（丸山）と米岡清一組合長（阿那賀）が仮契約書に調印しました。

**2漁協が合併。4月に「南あわじ漁協」誕生**

豊かな漁場である鳴門海峡に臨む、丸山漁業協同組合と阿那賀漁業協同組合では、四月一日の合併漁協の設立に向けて、十二月二十一日に合併仮調印式が行われました。



▲2漁協の合併仮調印式。左から中田市長、小磯組合長、米岡組合長、小松会長

## 丸山漁港・阿那賀漁港

## わがまち 心気

伝統文化を楽しもう

淡路人形浄瑠璃青年研究会

淡路人形浄瑠璃は、現代の若者には、「昔のこと」「よくわからない」という感じを持つ人が多いのではないかと思いますが、物語の内容をよくよく考えてみると、現代人の想像を超えたような話が多々あります。

今、取り組んでいる「生写朝顔日記」に出てくる「深雪」の「駒沢」への恋心は、現代人にも驚くような「情」を感じます。

私たちの先祖が、五百年も昔から、人形芝居（人形浄瑠璃）を育て、伝えてきたのは、高い文化への感心と理解、また、それを育む土壌があつたからだと思います。

私たちの活動は、「和」を大切に、「人形浄瑠璃を楽しむ」そしてお互いに無理せず会員同士が協調して、活動が続いています。



▲昨年、国民文化祭（徳島県）に出演

### 【市民へのメッセージ】

皆さん、淡路人形浄瑠璃を楽しみませんか？この素晴らしい文化を大切に、そして伝えてゆきましょう。

### 淡路人形浄瑠璃青年研究会

- ◆代表者 木田徹 (☎42-1437)
- ◆構成人員 20人
- ◆活動日 毎週金曜日（公演前は火、金）午後8時から、三原中学校人形練成場にて
- ◆受賞歴 平成19年度兵庫県ともしびの賞

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>

E-mail: [kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp](mailto:kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp)